

# 平成29年度事業報告書

平成29年 4月 1日から 平成30年 3月31日まで

特定非営利活動法人だっぴ

## 1 事業実施の成果

別紙のとおり

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額 (円)
若者の人材育成と社会、働き方、生き方を考えるための交流会事業	中学生と大学生と地域の大人の交流事業	年11回	各中学校	2名	1,426名	3,226,276
進路や働き方に悩む若者が自分らしい一歩を踏み出すための企画・実施事業	大学生と地域の大人の交流事業	通年	事務所内	2名	346名	1,859,342
活動内容を広く知らせ、啓蒙するための啓発事業	講演活動、報告会等	通年	依頼のあった事業所	1名		581,244

その他・本法人の目的を達成するために必要な事業	①青少年健全育成座談会 ②ファシリテーション勉強会	①2/10 ②9/24,10/22, 1/14	①ピュアリティまきび ②岡山大学附属図書館、きらめきプラザ	2名	121名	254,403
-------------------------	------------------------------	-------------------------------	----------------------------------	----	------	---------

(2) その他の事業

なし

特定非営利活動法人だっぴ  
2017年度（平成29年度）・第5期  
事業報告書

【期間：2017年4月1日～2018年3月31日】

## 2017 年度を振り返って

年度初め、まず私たちは団体のビジョンとミッションの再定義を行いました。これは、活動への期待が高まる中、しっかりとした成果を明確に出しつつけるために行いました。そして、下記のとおり、改めて若者の支援をすることを誓うと共に、その可能性だけでなく、実現力も応援する団体となることを目指して活動を開始しました。

【ビジョン】一人ひとりの若者が人とのつながりの中で自分らしく生きていける社会を作る

【ミッション】若者の可能性と実現力を開拓する

このビジョンとミッションの元、2017 年度は主に以下の活動を行いました。

1. 中学校や高校の教育現場における、中学生と大学生、地域の大人の世代間交流授業の展開
2. 地域の魅力的に生きる多様な大人と大学生世代などの若者の交流
3. 講習会の開催等による、人材の育成と確保。ノウハウの展開。

○成果としては、以下のことが実現できました。

- ・ 中学校教育現場での活動が更に広がったこと（11 回 1,426 名）
- ・ 地域企業との連携活動が拡大したこと（企業人×だっぴなどの開催）
- ・ 大学等との連携が深化したこと（授業連携と教育×だっぴの協働開催）
- ・ ノウハウ展開のチャレンジ（ファシリテーション勉強会やだっぴマニュアルの発行）

○一方、課題としては、以下のことに直面した1年でもありました。

- ・ いかにも、活動を社会の仕組みとして地域に定着させていくかの難しさ

いま私たちの活動は、たくさんの方に支えられ、確実な広がりを見せています。私たち自身、多くの若者たちに今までにない機会を届けられていることは本当に嬉しく、また関わって頂いた全ての方にたくさんの感謝をしています。

しかし、その一方で地域に多世代の交流が如何に必要とされているかにも多く気づかされています。そして、そのニーズに私たちだけでは到底応えることは出来ないことも理解しています。

2017 年度は、だっぴマニュアルの作成と公開を行い、中学生の現状を分析した白書の発行にも着手しました。つづく 2018 年度。私は、今まで以上に、チーム岡山の大きな動きに繋げていくことが必要だと考えています。丁寧な事業実施と合わせて、多様な団体、個人と連携を深め、一緒に作ることに力を入れて行きます。どうぞ、引き続きだっぴをよろしくお願い致します。

NPO 法人だっぴ  
代表理事 柏原拓史

# 各事業の運営に関して

## 1. 中学生・高校生だっぴ

中学生×大学生(世代)×大人の三者がフラットな関係での対話を通して、お互いの価値観などを共有することで、中学生の未来への期待や自分への自信を醸成する事業。

目標	成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中学生が自分と違う意見を知り、それを認める</li> <li>● 中学生の地域や社会への興味関心を高める</li> <li>● 中学生が少し先の目標をもつ</li> <li>● 大学生の地域参画の機会を通して、自己成長する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中学生の自己肯定感や地域への愛着を高めることに貢献できた。</li> <li>● 中学生の大人に対する印象を変えることができた。</li> <li>● 大学生もまた、地域社会に対する当事者意識を高めることができた。</li> <li>● 地域の中で多世代交流の機会を担保することができた。</li> </ul>

### 実績

#### 実施校数

6市町村 10回 + 自主開催 1回

<中学生だっぴ>

学校単位で実施：岡山市 4校、玉野市 1校、津山市 1校、西粟倉村 1校、

市単位（市内希望者が参加）で実施：備前市 1回、高梁市 1回

<高校生だっぴ>

学校単位で実施：津山市 1校

#### 参加者数

総参加人数 1,426人

中学生 697人

高校生 64人

大学生/キャスト 324人

おとな 341人




### 課題・展望

多世代交流の場の中で、中学生が自分の意見や価値観を表現し、それが受け入れられることで、中学生の自己肯定感・自己効力感を高めることができた。また、地域の大人や大学生との対話が、中学生の将来への期待感も醸成させている。副次的に、地域への愛着や当事者意識も培われていることが分かった。地域の大人や大学生にとっても、異年齢の存在から学ぶ機会となっている。

こうした成果を非日常の中で完結させるのではなく、日常に接続していく必要がある。また、多世代交流の仕組みを地域に残していく仕掛けを行っていきたい。そのためにも、だっぴを実施する際に、継続性の観点を意識しながら、地域の人たちを巻き込んでいく。

## 2. 教育×だっぴ

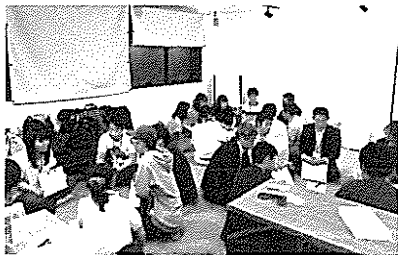
教育の道を志す学生と教育に関する様々な世界で活躍する大人の交流機会をつくることで、学生が多様な教育観や教育の働き方の選択肢を学ぶ事業。

目標	成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教育の道を志す学生が教育の世界の選択肢をより多く得る。</li> <li>● 教育への関わり方の選択肢を吟味することを通して、自分の教育観と向き合い、教育へ関わる熱量を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 参加した学生に教育の働き方として、教員以外の選択肢にも気づいてもらうことができた。</li> <li>● 参加者が多様な教育観を理解し、自分なりの教育の軸を見つけようとするきっかけの場にすることができた。</li> </ul>
実績	
<p>企画名：教育×だっぴー迷える学生が語る教室ー            実施日：2017年11月19日            場所：きらめきプラザ            参加者数：大学生 43名                              ゲスト 33名</p> <p>企画名：教育×だっぴ in 岡山大学            実施日：2018年1月20日(土)            場所：岡山大学教育学部棟            参加者数：大学生 26名                              ゲスト 13名</p> 	
課題・展望	
<p>学生と教育関係者の交流によって、未来の教育者を育成できる可能性を感じることはできた。大学生・大人ともに参加者層をより多様にしていきたい。参加者の間口を広げることに加えて、継続性を高めるためにも、仕組みとして整備していくことを目指したい。次年度は岡山大学や岡山県教育委員会との連携を模索しながら、大きな動きに変えていきたい。</p>	

## 3. 企業人×だっぴ

就職活動を控えた学生と岡山の企業人の交流機会です。「働く」について考えることを通して、学生が自分の働き方について視野を広げて考える事業。


目標	成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学生が自分の働き方について考え、働くイメージをより鮮明にすることができる。</li> <li>● 多様な働き方に出会うことで、学生が自分の視野を広げることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 参加した学生が、自分の働くイメージをより鮮明に持つことができた。</li> <li>● ゲストとして参加した人との継続的な関係づくりができた。</li> </ul>

実績	
<p>企画名：はたらこだっぴ            実施日：2017年5月18日(木)、6月1日(木)            参加者合計：大学生 30名                              ゲスト 6名</p> <p>企画名：企業人×だっぴ            実施日：2017年8月18日(土)、12月11日(月)、2018年2月22日(木)            参加者合計：大学生 93名                              ゲスト 38名</p>	
課題・展望	
<p>はたらこだっぴでは津山市と(株)はたらこらぼとコラボし、企業人×だっぴは岡山県中小企業団体中央会のイベントをコーディネートするかたちで実施した。これにより、多くの企業がだっぴに参加することが可能になった。今後は、参加企業の選定において、だっぴでも独自の指標をつくり、良い企業文化をもった企業と学生の交流機会を創出していきたい。参加対象についても、大学のキャリアセンターなどと連携し、大学1・2年生の早期から、働き方についての関心のアンテナをつくっていく。</p>	

#### 4. だっぴファシリテーション講座

岡山県外からファシリテーションに精通するゲストをお呼びし、ノウハウや事例を勉強することで、岡山県の教育力の底上げを目指す事業。

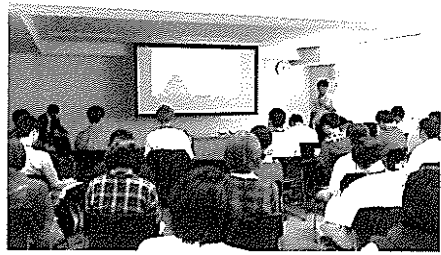
目標	成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 対話による学びの場づくりのノウハウや県外の先進的な事例を学ぶ場を作る。</li> <li>● 地域の教育力を高め、多世代交流の担い手を育成する土壌をつくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ファシリテーションなど、比較的新しい領域の知識について、より正確な知識を習得することができた。</li> <li>● だっぴの理解者・共感者が自分もまた場づくりについて学ぶことで、多世代交流の担い手を育成する足掛かりにすることができた。</li> </ul>

実績	
<p>企画名：学生のためのファシリテーション講座            実施日：2017年9月24日(日)            講師：青木将幸さん            参加者：大学生 20名</p> <p>企画名：場づくりを学びたい人のためのファシリテーション講座            実施日：2017年10月22日(日)            講師：西村勇哉さん            参加者：31名</p>	

企画名：学び合いを促進するファシリテーション講座 実施日：2018年1月14日(日) 講師：荒木寿友さん 参加者：40名
課題・展望
今回の講座は全体的に「ファシリテーション」に関する知識習得や実践体験を重視し、ファシリテーションについて理解の深い人材を増やしていくことに力点をおいたため、「中学生だっぴを継続していくために、地域に担い手を増やしていくこと」に関する直接的な寄与は今後の課題である。 中学生だっぴとの連動性を高め、だっぴ参加者→理解者・共感者→実践者といったような階層を意識して、理解者・共感者が実践者になっていく流れを確立する。今回のような機会を、だっぴ開催地域がそのノウハウを内製化できる仕組みとして整備、一貫通貫性を高めていきたい。

## 5. 後悔しない！プロジェクト


東京・大阪・愛媛で活躍する若手リーダーとの交流を通して、大学生がチャレンジ精神を高め、「自分の挑戦の計画」を立てる事業。

目標	成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大学生が自分もまた挑戦者であることを自覚し、チャレンジ精神を醸成する。</li> <li>● 大学生の「何かしてみたい」という思いを具体的なかたちにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大学生が自己実現できるよう「内発的動機づけ」と「行動の具体化」をフォローすることができた。</li> <li>● この機会をきっかけに大学生が自分のやりたいことをプロジェクトとして企画できた。</li> </ul>
実績	
企画名：大学時代を後悔しない！先輩たちの大航海 実施日：2017年10月1日(日) 参加者：大学生 26名 ゲスト 3名	
企画名：大学時代を後悔しない！僕らがつくる航海図 実施日：2017年12月17日(日)、12月18日(月) 参加者：大学生 6名	
課題・展望	
大学生が自分でプロジェクトを企画でき、明確なアクションに向かえるような改善の必要がある。交流機会によってモチベーションを高め、実際の行動へステップアップしていく大学生の割合を増やしたい。そうした大学生の自己実現において、背中を押せる伴走者になれる人材を発見したい。プロジェクトのかたちとしては、改善すべきところが多く、枠組みとして同様のものは用意しつつも、詳細の部分は大幅な変更が求められる。	



## 6. ぶちだっぴ

だっぴを通して、「もっとこんな大人に会ってみたい!」という思いをもった大学生が、自分たちの場を自分たちでつくる事業。

目標	成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 企画する若者が実現力を高めていくことを支援する。</li> <li>● 企画運営を通して、大学生の自己効力感を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ゲストとして参加した大人と企画した大学生たちの継続的な関係づくりができた。</li> <li>● 大学生が成功・失敗体験をする場を提供することができた。</li> </ul>
実績	
<p>企画名：ぶちだっぴ～こんにちは新しい自分～            実施日：2017年9月3日(日)            参加者：大学生 12名                      ゲスト 3名</p> <p>企画名：新年あけましてだっぴ            実施日：2018年1月21日(日)            参加者：大学生 8名                      ゲスト 6名</p>	
課題・展望	
<p>開催したいという大学生からの申し出があった場合に開催するというスタイルで実施した。開催頻度のコントロールが難しくなるが、結果的に半年に1回のペースになったので、特に問題はなかった。より多くの大学生が企画側として、場づくりの経験ができるよう、挑戦しやすい雰囲気や土壌を整えていく必要がある。</p>	

## 7. その他

### □ 岡山大学授業連携

岡山大学で一般教養「キャリア形成Ⅴ」の授業を15コマ全てだっぴが担当。受講生はコミュニケーション実践として中学生だっぴにも参加した。

第2Q：2017年6月12日～2017年8月13日

受講生 56名

第4Q：2017年12月4日～2018年2月5日

受講生 44名

### □ だっぴ開催マニュアル発行

2017年度岡山市市民協働の一環として、「自分の地域でもだっぴを開催したい!」という方がだっぴを開催できるよう、だっぴプログラム実施までの過程を見える化した冊子を制作した。

# 活 動 計 算 書

[税込] (単位: 円)

特定非営利活動法人だっぴ

自 平成29年 4月 1日 至 平成30年 3月31日

【経常収益】			
【受取会費】			
正会員受取会費	105,000		
賛助会員受取会費	330,000	435,000	
【受取寄付金】			
受取寄付金		107,800	
【受取助成金等】			
受取助成金	600,000		
受取協賛金	50,000	650,000	
【事業収益】			
自主事業収益	771,272		
受託事業収益	4,451,538	5,222,810	
【その他収益】			
受取利息	49		
雑収益	211,877	211,926	
経常収益計			6,627,536
【経常費用】			
【事業費】			
(人件費)			
給料手当(事業)	4,442,484		
人件費計	4,442,484		
(その他経費)			
諸謝金(事業)	387,666		
印刷製本費(事業)	119,755		
旅費交通費(事業)	520,200		
通信運搬費(事業)	29,511		
消耗品費(事業)	308,450		
賃借料(事業)	80,970		
研修費(事業)	1,500		
支払手数料(事業)	3,370		
雑費(事業)	27,359		
その他経費計	1,478,781		
事業費計		5,921,265	
【管理費】			
(人件費)			
給料手当	345,976		
法定福利費	591,906		
人件費計	937,882		
(その他経費)			
印刷製本費	109,114		
旅費交通費	144,060		
通信運搬費	38,784		
消耗品費	102,844		
賃借料	378,340		
広告宣伝費	664,441		
接待交際費	50,661		
諸会費	3,000		
租税公課	30,315		
支払手数料	13,296		
その他経費計	1,534,855		
管理費計		2,472,737	
経常費用計			8,394,002
当期経常増減額			△ 1,766,466
税引前当期正味財産増減額			△ 1,766,466
当期正味財産増減額			△ 1,766,466
前期繰越正味財産額			6,254,408

# 活動計算書

特定非営利活動法人だっぴ  
次期繰越正味財産額

[税込] (単位: 円)  
自 平成29年 4月 1日 至 平成30年 3月31日  
4,487,942

## 事業費の内訳（別紙）

特定非営利活動法人だっぴ

平成30年 3月31日 現在

科目	(1)若者の人材育成と社会、働き方、生き方を考えるための交流会事業	(2)進路や働き方に悩む若者が自分らしい一歩を踏み出すための企画・実施事業	(3)活動を広く知らせ、啓蒙するための啓発事業	(4)その他、本法人の目的を達成するために必要な事業	合計
(人件費)					
給料 手当(事業)	2517436	1,451,060	315,992	157,996	4,442,484
人件費計	2517436	1451060	315992	157996	4,442,484
(その他経費)	0	0			
諸 謝 金(事業)	80195	276,620	1,692	29,159	387,666
印刷製本費(事業)	119755	0	0	0	119,755
旅費交通費(事業)	260940	113,504	78,590	67,166	520,200
通信運搬費(事業)	23459	0	5,970	82	29,511
消耗品 費(事業)	144806	9,784	153,860	0	308,450
賃 借 料(事業)	56390	7,380	17,200	0	80,970
研 修 費(事業)	1500	0	0	0	1,500
支払手数料(事業)	1944	994	432	0	3,370
雑 費(事業)	19851	0	7,508	0	27,359
その他経費計	708840	408,282	265,252	96,407	1,478,781
合計	3226276	1859342	581244	254403	5,921,265

# 貸借対照表

特定非営利活動法人だっぴ  
全事業所

[税込] (単位: 円)  
平成30年 3月31日 現在

		《資産の部》	
【流動資産】			
(現金・預金)			
金券		18,295	
現金		1,826	
普通預金		4,649,265	
ゆうちょ普通		(1,611,481)	
ゆうちょ振替		(614,000)	
ゆうちょ5050		(4,785)	
ろうきん		(2,418,999)	
現金・預金計		4,669,386	
(売上債権)			
未収金		485,704	
売上債権計		485,704	
(その他流動資産)			
立替金		5,500	
その他流動資産計		5,500	
流動資産合計		5,160,590	
資産合計			5,160,590
		《負債の部》	
【流動負債】			
未払金		500,134	
預り金		172,514	
その他補助		(172,514)	
流動負債合計		672,648	
負債合計			672,648
		《正味財産の部》	
前期繰越正味財産		6,254,408	
当期正味財産増減額		△ 1,766,486	
正味財産合計		4,487,942	
負債及び正味財産合計			5,160,590

# 財 産 目 録

特定非営利活動法人だっぴ  
全事業所

[税込] (単位: 円)  
平成30年 3月31日 現在

		《資産の部》	
【流動資産】			
(現金・預金)			
金券	18,295		
現    金	1,826		
普通預金	4,649,265		
ゆうちょ普通	(1,611,481)		
ゆうちょ振替	(614,000)		
ゆうちょ5050	(4,785)		
ろうきん	(2,418,999)		
現金・預金計	4,669,386		
(売上債権)			
未収金	485,704		
売上債権計	485,704		
(その他流動資産)			
立替金	5,500		
その他流動資産計	5,500		
流動資産合計		5,160,590	
資産合計			5,160,590
		《負債の部》	
【流動負債】			
未払金	500,134		
預り金	172,514		
その他補助	(172,514)		
流動負債合計	672,648		
負債合計			672,648
正味財産			4,487,942

前事業年度の年間役員名簿

(平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日)

特定非営利活動法人だっぴ

No.	役職名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬の有無
1	代表 理事	かしはらたくし 柏原拓史	[Redacted]	自 平成 29 年 4 月 1 日 至 平成 30 年 3 月 31 日	報酬なし
2	副代表 理事	ふじいひろや 藤井裕也		自 平成 29 年 4 月 1 日 至 平成 30 年 3 月 31 日	報酬なし
3	理 事	みやけまほみ 三宅真史		自 平成 29 年 4 月 1 日 至 平成 30 年 3 月 31 日	報酬なし
4	理 事	あがきあきこ 中箭貴子		自 平成 29 年 6 月 15 日 至 平成 30 年 3 月 31 日	報酬なし
5	理 事	むらなかゆき 室貴由輝		自 平成 29 年 6 月 15 日 至 平成 30 年 3 月 31 日	報酬なし
6	理 事	かわはらあやか 河原彩花		自 平成 29 年 6 月 15 日 至 平成 30 年 3 月 31 日	報酬なし
7	理 事	もろふしあき 森分志学		自 平成 29 年 6 月 15 日 至 平成 30 年 3 月 31 日	報酬なし
8	監 事	みやまけいいち 宮崎栄一		自 平成 29 年 4 月 1 日 至 平成 30 年 3 月 31 日	報酬なし